

「シビルエンジニアの定年退職後の活動に関する意向・実態調査」

調査結果

2023年6月7日

土木学会 教育企画・人材育成委員会

成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

委員長 黒田 武史

担当委員 山崎 廉予

1. 調査要領

1-1. 調査目的

- ① 近い将来に定年退職を迎える、または既に定年退職を迎えたシニア層のシビルエンジニアが、どのような場で活動したいと考えているのか、実態を把握する。
- ② シニア層のシビルエンジニアの退職後の活動に対して、各年代のシビルエンジニアがどのような考えを持っているのか把握する。

1-2. 調査 実施時期： 2022年 12月 26日～ 2023年 2月 28日

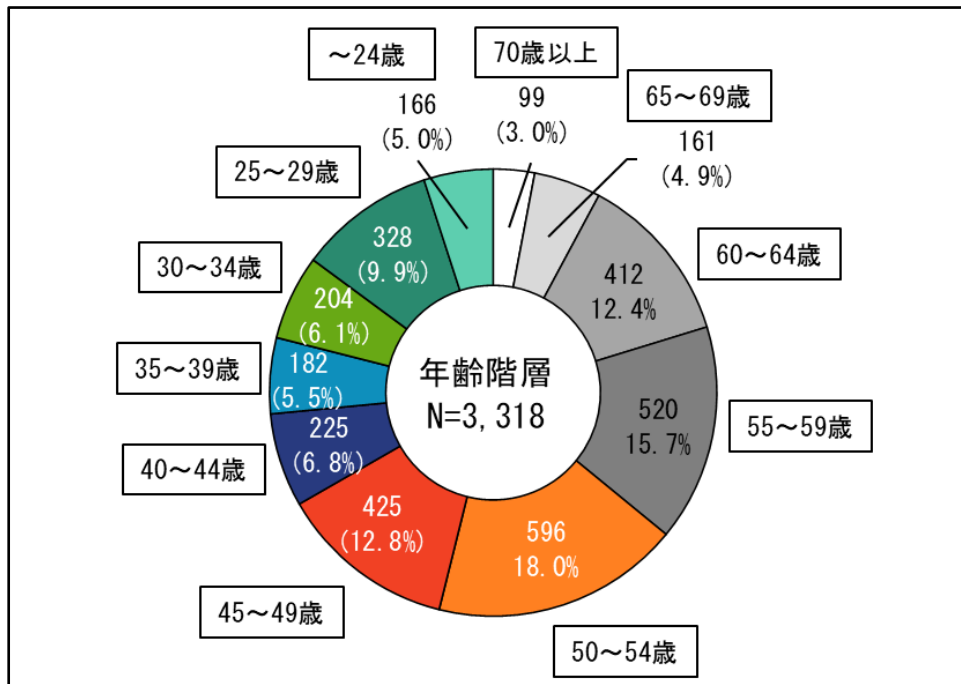
1-3. 調査 対象者： 若年層からシニア まで、土木に関わるすべての年代の方々

1-4. 実施方法： WEB 上でのアンケート実施

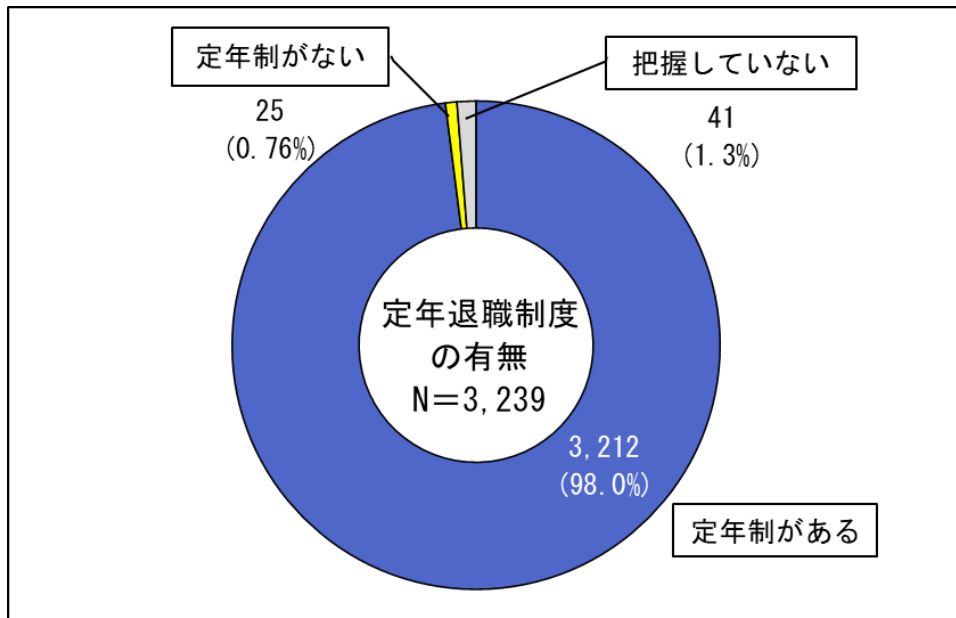
1-5. 回答者数： 回答者数： 3,318名（2023年2月28日時点）

2. 調査結果

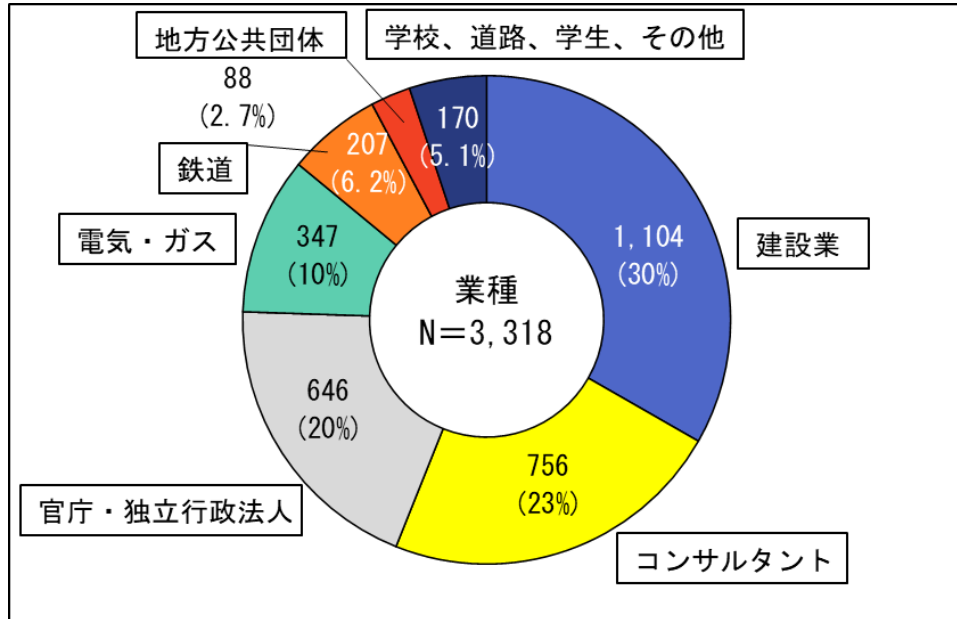
2-1. 回答者の年齢階層の割合



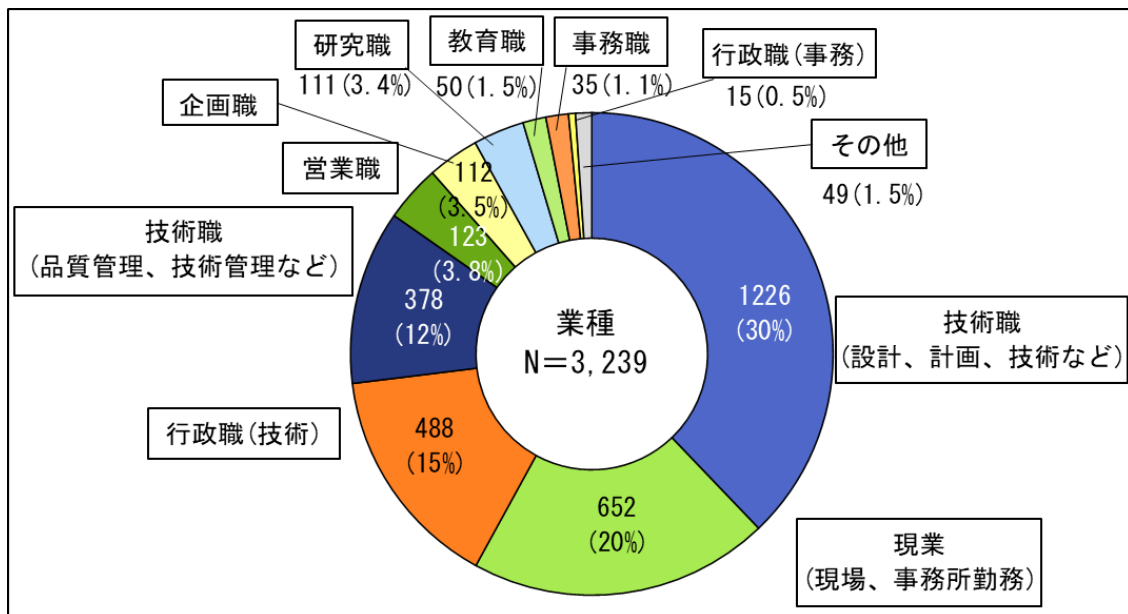
2-2. 回答者の定年退職制度の有無



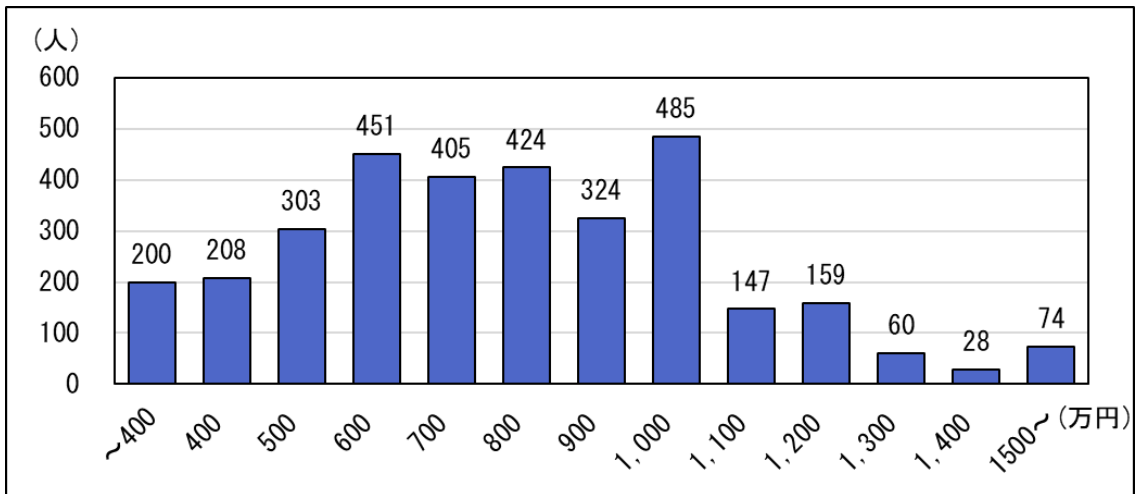
2-3. 回答者の業種の割合



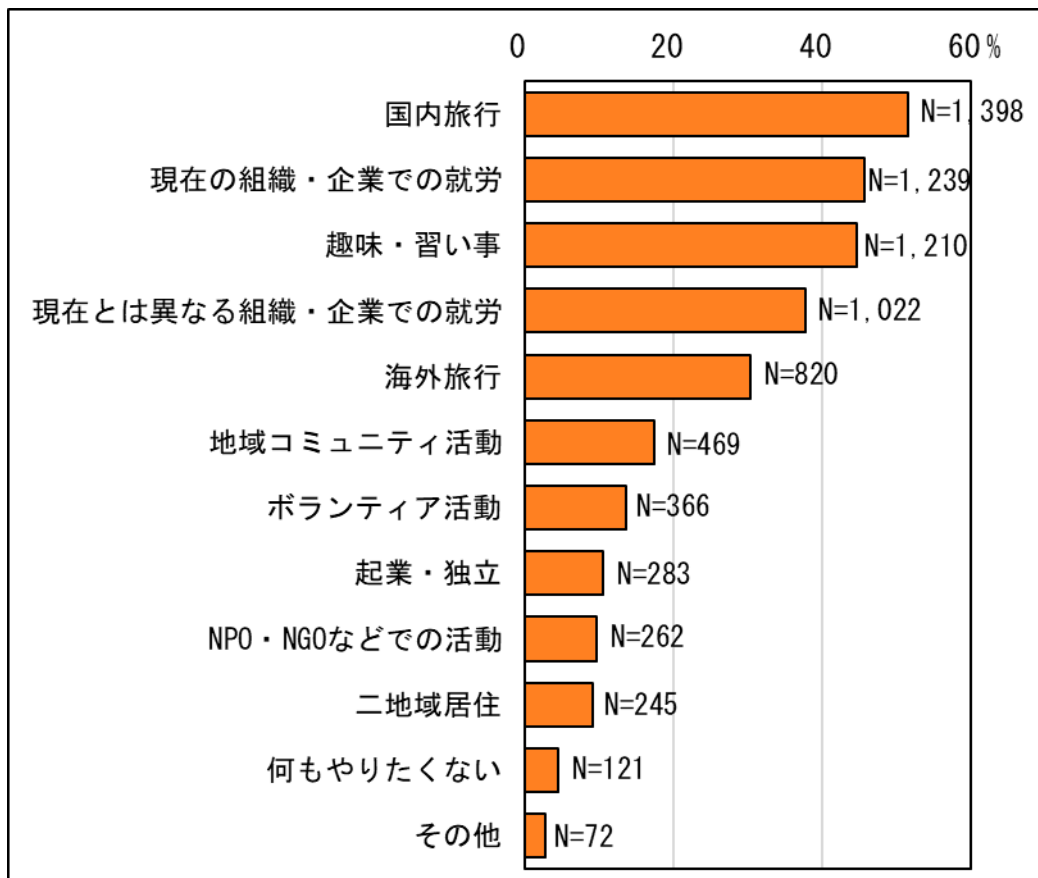
2-4. 回答者の職種の割合



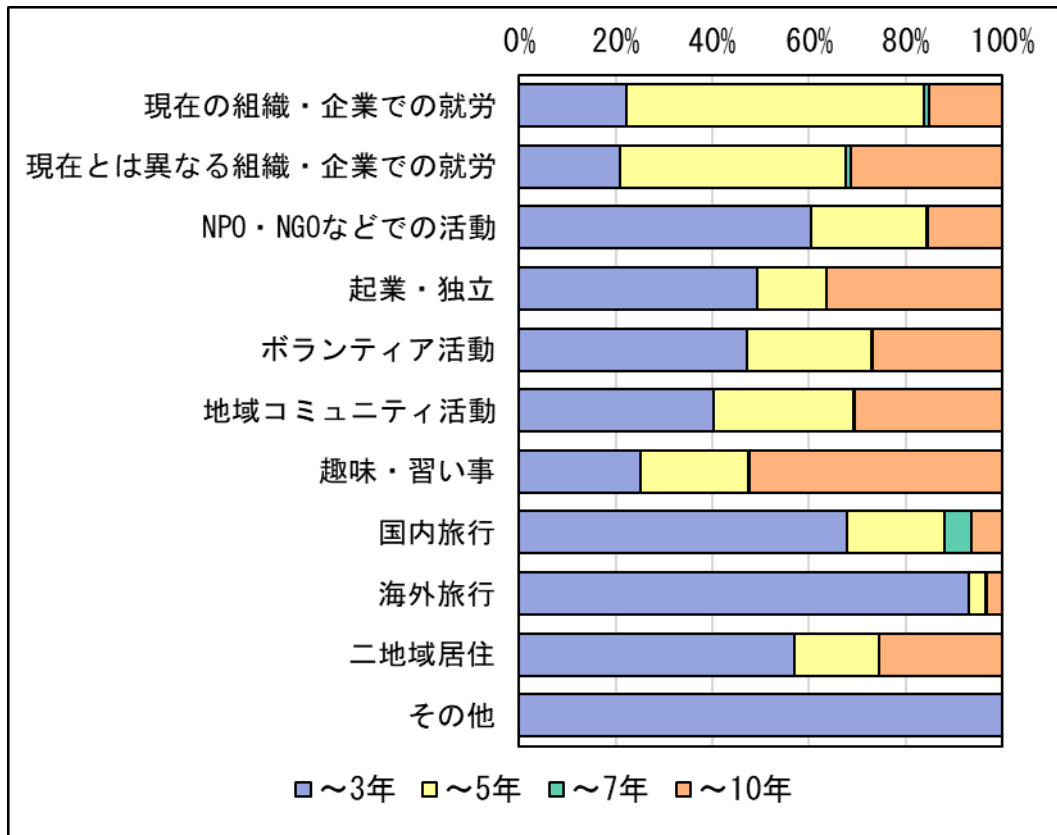
2-5. 回答者の年収 (N=3,268, 百万円単位)



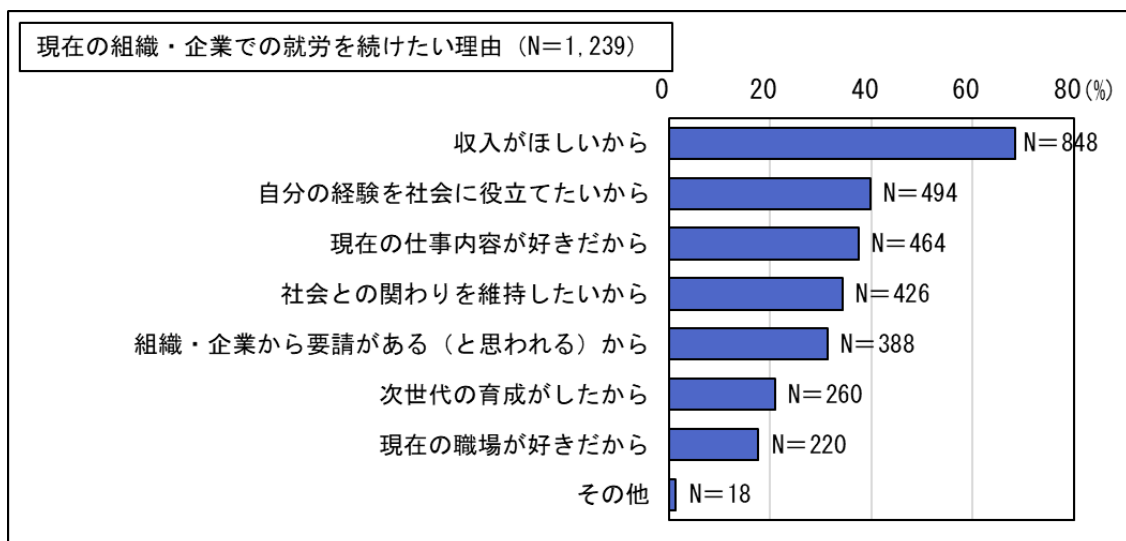
2-6. 定年退職後に行いたいと思っていること (N=2,714, 複数回答)

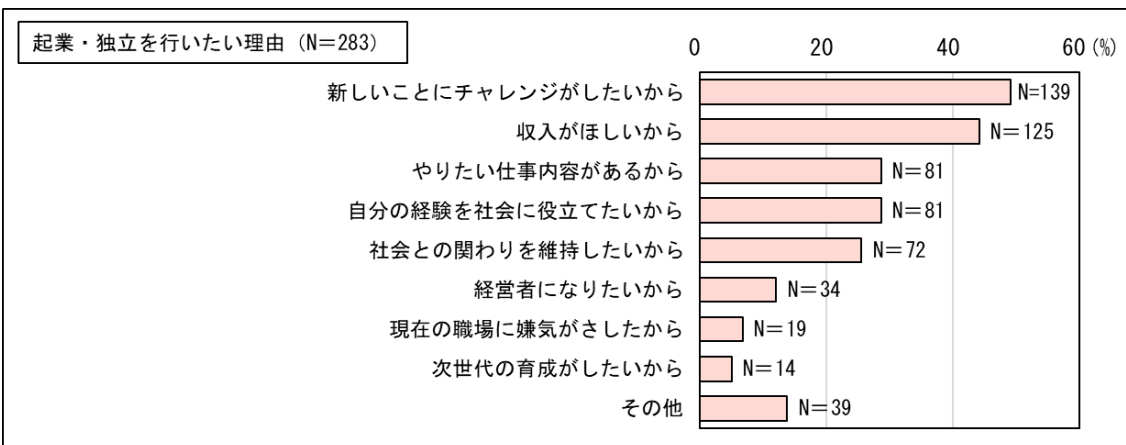
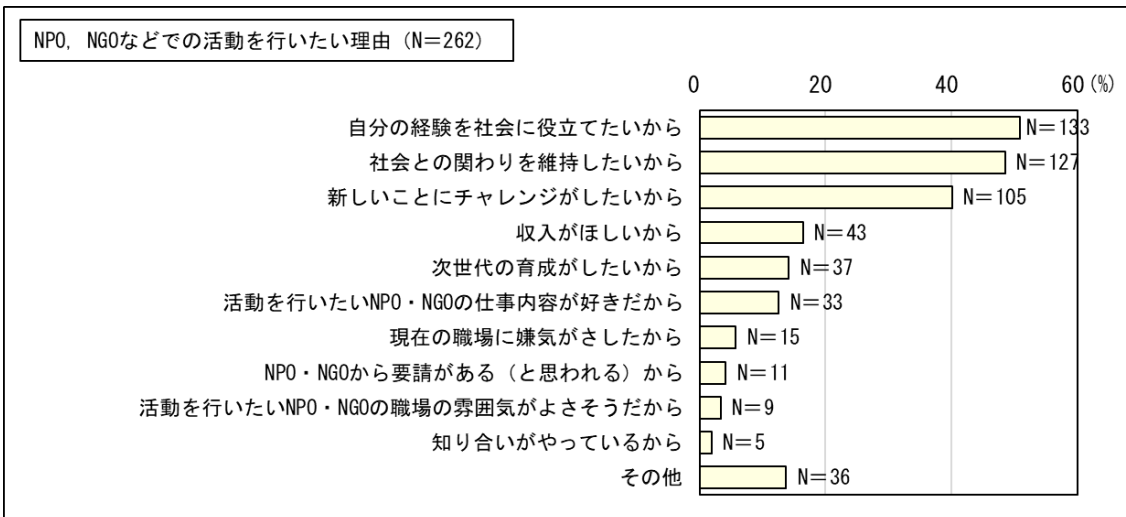
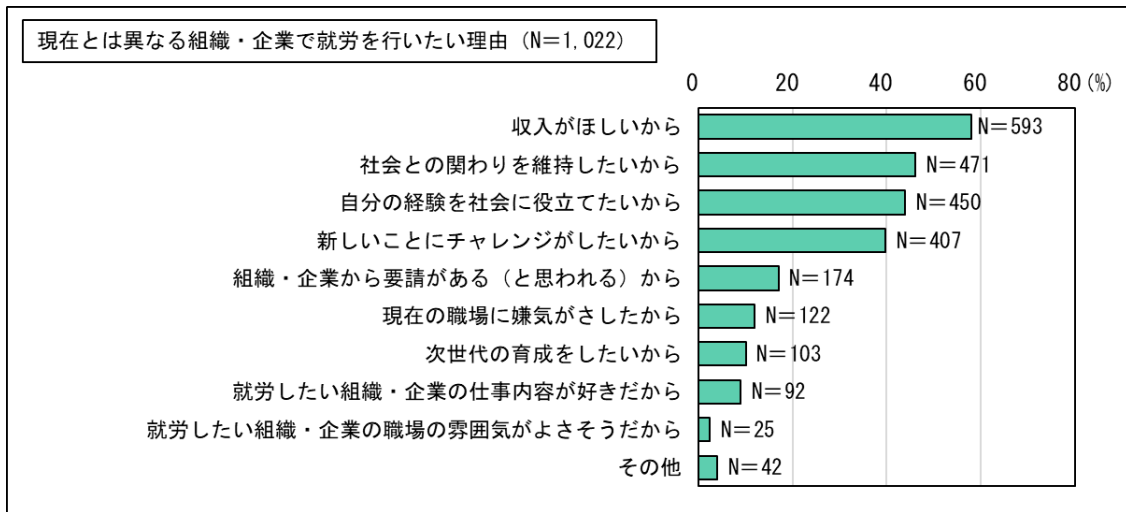


2-7. 定年退職後に行いたいと思っていることをどの程度の期間継続したいか

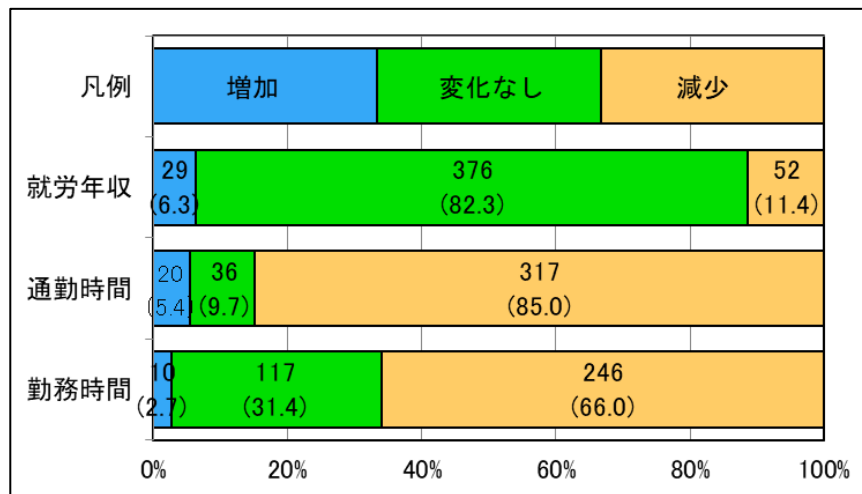


2-8. 定年退職後に就業を継続する理由（対象：定年前で就労している方）

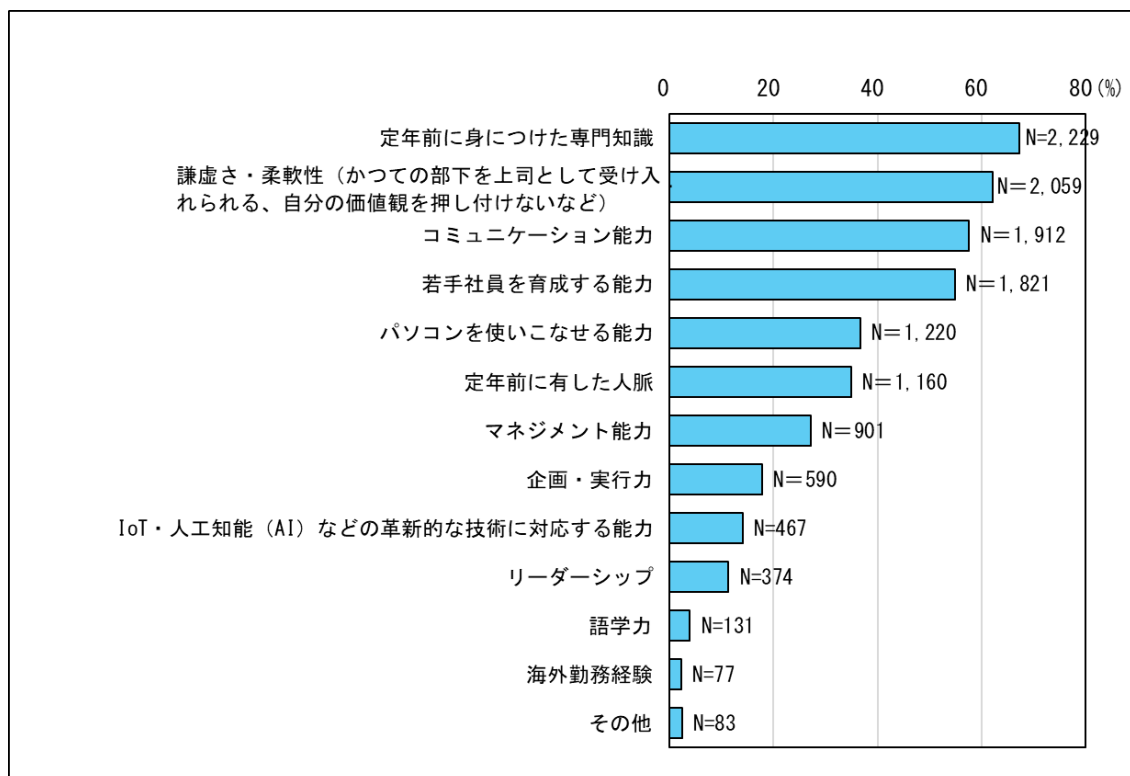




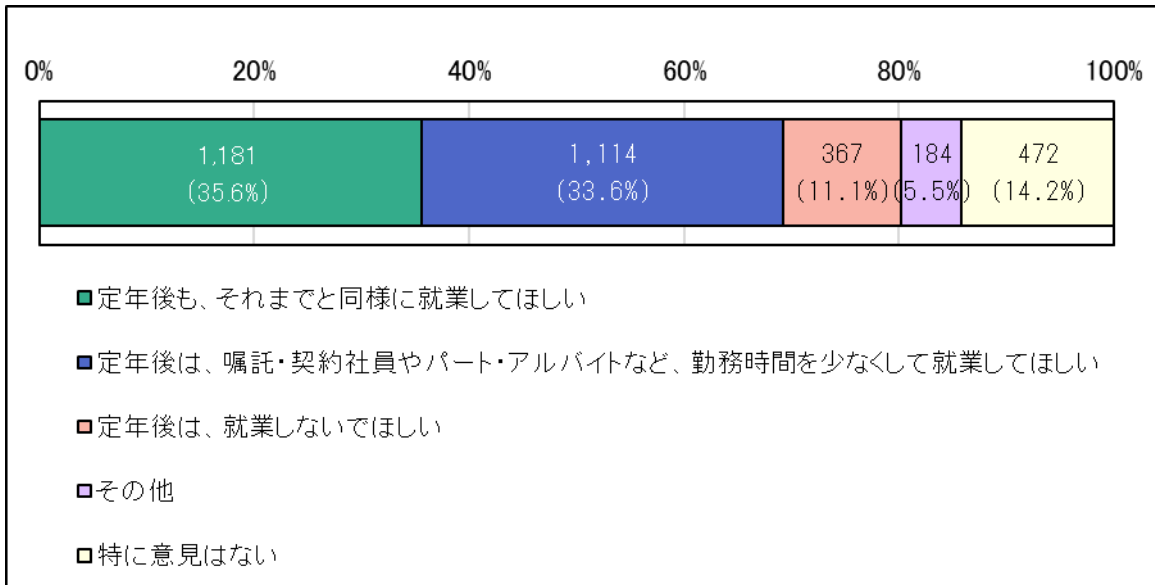
2-9. 定年退職後に就業を継続した場合の変化（対象：定年後就労している方）
 （就労年収：N=457、通勤時間、勤務時間：N=373）



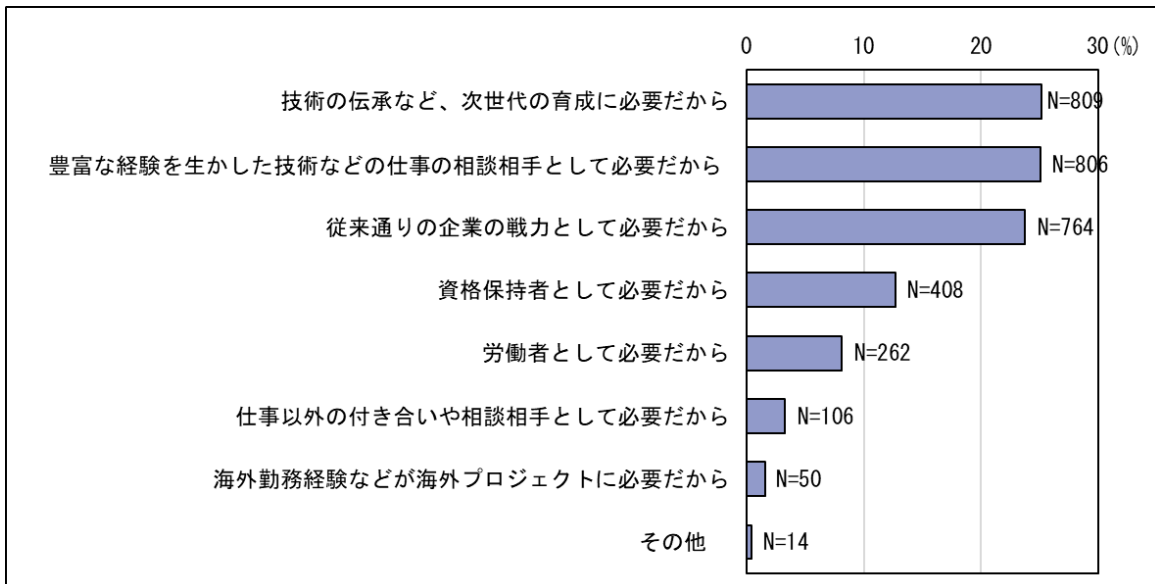
2-10. 定年退職後に必要と考える能力（N=3,318, 複数回答）



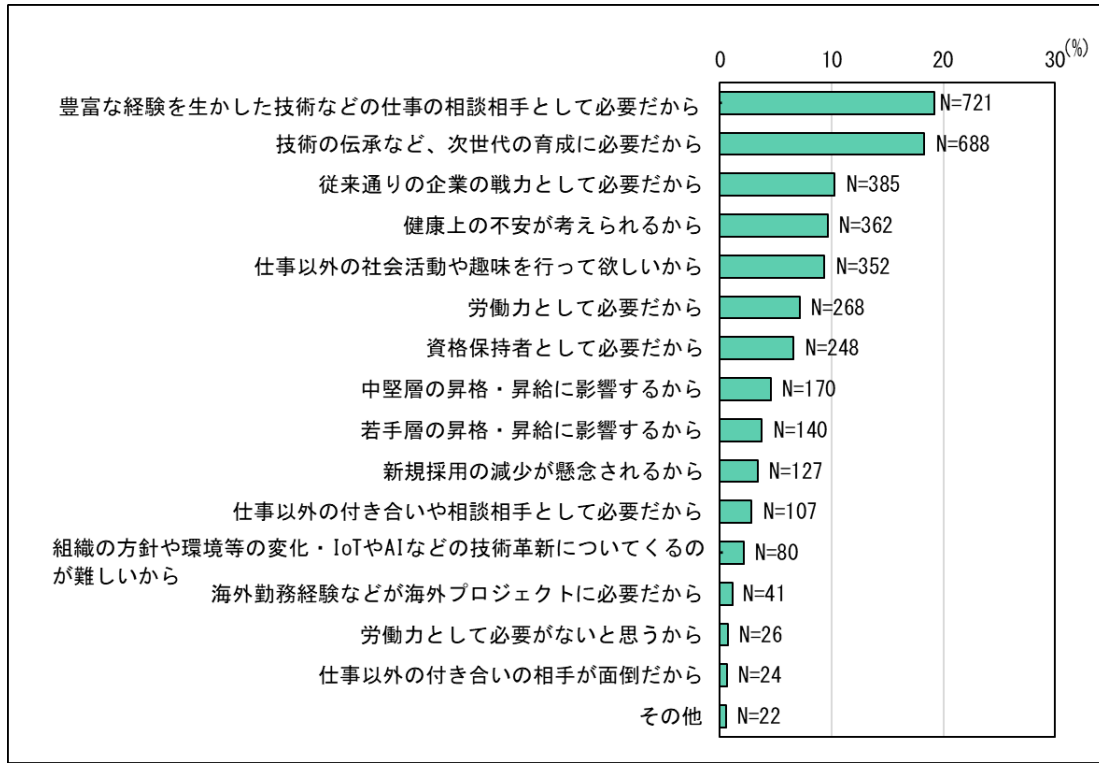
2-11. 定年退職後のシニアの就業に対する意見 (N=3,318)



2-12. 定年退職後のシニア技術者に、それまでと同様に就業して欲しい理由 (N=3,219, 複数回答)



2-13. 定年退職後のシニア技術者に嘱託・契約社員やパート・アルバイトなど、勤務時間を少なくして就業してほしい理由 (N=3,761, 複数回答)



2-14. 定年退職後のシニア技術者に就業してほしくない理由 (N=858, 複数回答)

